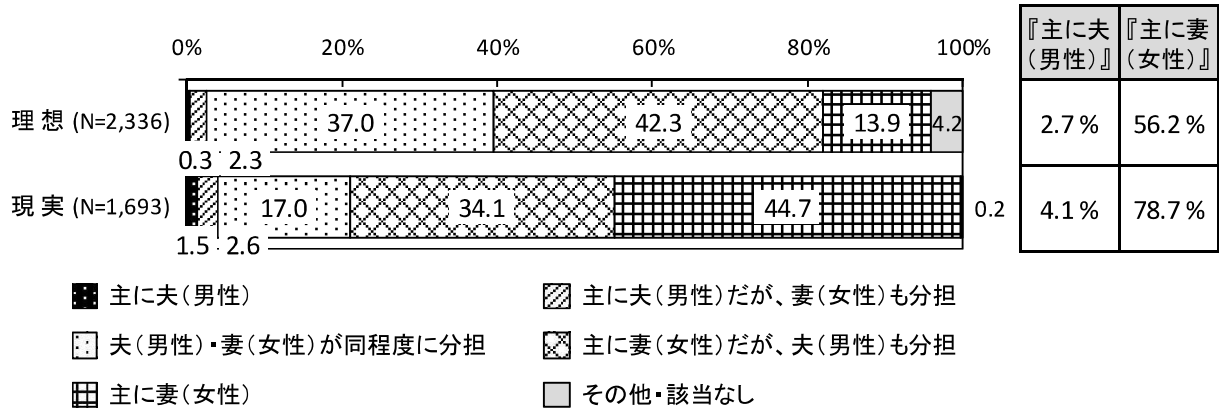


⑥日常の買い物

《理想》と《現実》の差をみると、「主に妻（女性）」の割合は《理想》では13.9%であるのに対し、《現実》では44.7%となっており、その差が30.7ポイントと大きく、『主に妻（女性）』の割合は《現実》（78.7%）が《理想》（56.2%）を22.5ポイント上回っている。



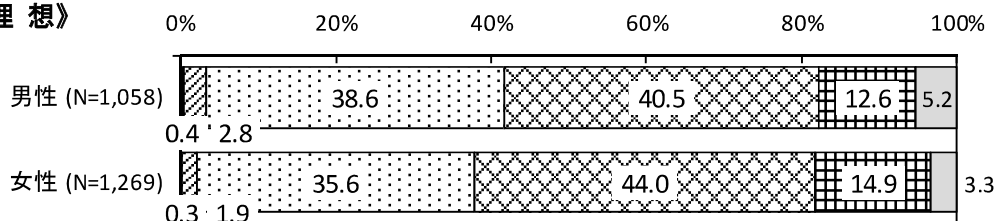
※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

【性別】（日常の買い物）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は53.0%であり、女性の58.9%と比べて5.9ポイント低くなっている。

《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は71.4%であり、女性の85.0%と比べて13.6ポイント低くなっている。なかでも「主に妻（女性）」が分担している割合は、男性では31.6%であるのに対し、女性では55.5%となっており、差が23.8ポイントと大きい。

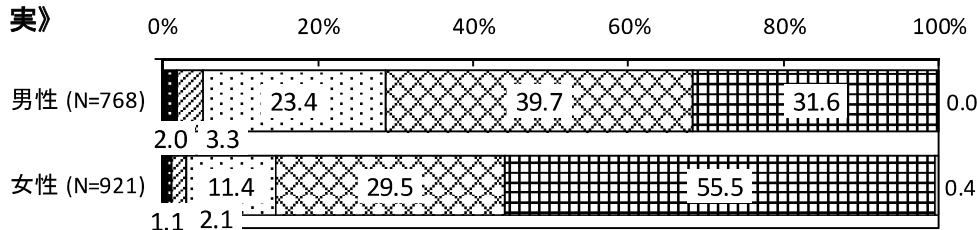
《理想》



『主に夫(男性)』	『主に妻(女性)』
3.2%	53.0%
2.2%	58.9%

- 主に夫(男性)
- ▨ 主に夫(男性)だが、妻(女性)も分担
- ▤ 夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担
- ▧ 主に妻(女性)だが、夫(男性)も分担
- ▩ 主に妻(女性)
- その他

《現実》



『主に夫(男性)』	『主に妻(女性)』
5.2%	71.4%
3.1%	85.0%

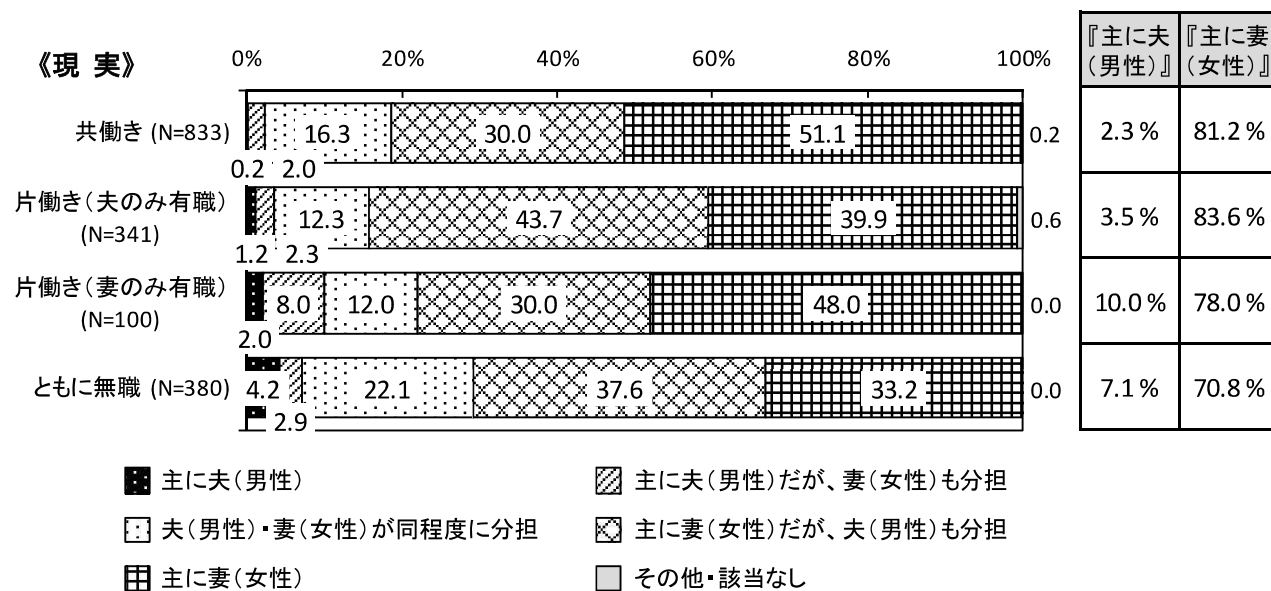
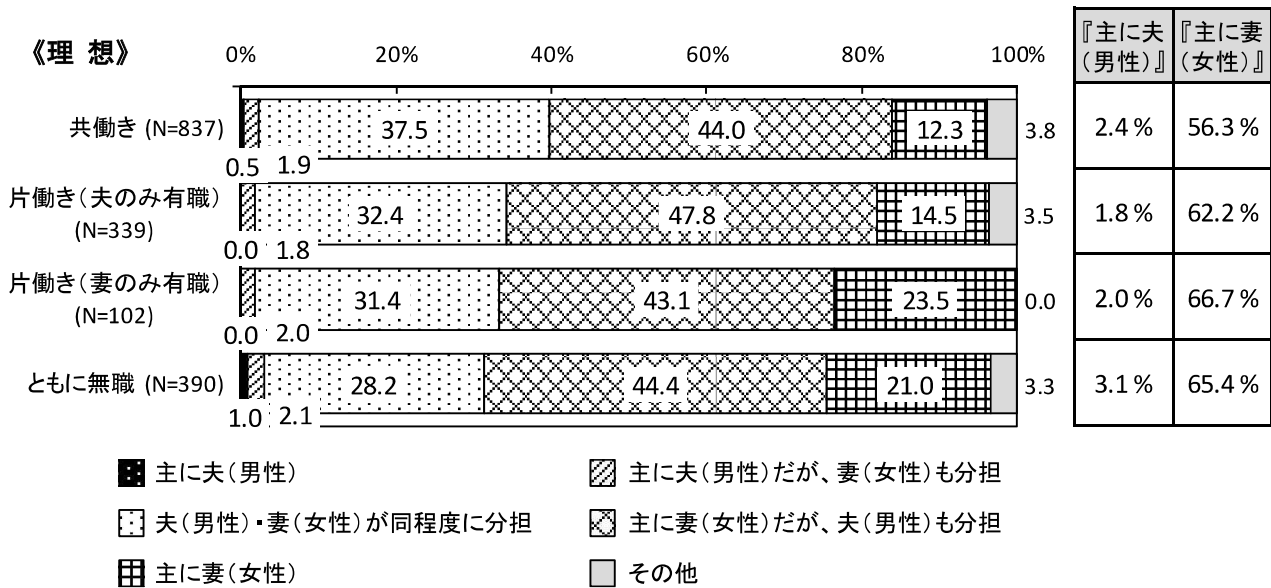
- 主に夫(男性)
- ▨ 主に夫(男性)だが、妻(女性)も分担
- ▤ 夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担
- ▧ 主に妻(女性)だが、夫(男性)も分担
- ▩ 主に妻(女性)
- その他・該当なし

【片働き・共働き別】（日常の買い物）

《理想》では、共働き（56.3%）を除き『主に妻（女性）』の役割と考える割合が6割台となっている。

《現実》では、共働きと片働き（夫のみ有職）は『主に妻（女性）』が分担している割合が8割超を占めており、特に、共働きにおいては『主に夫（男性）』が分担している割合は2.3%にとどまっている。

共働きと片働き（夫のみ有職）においては、『主に妻（女性）』の割合が《理想》と比べて《現実》の方が20ポイント以上高く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。

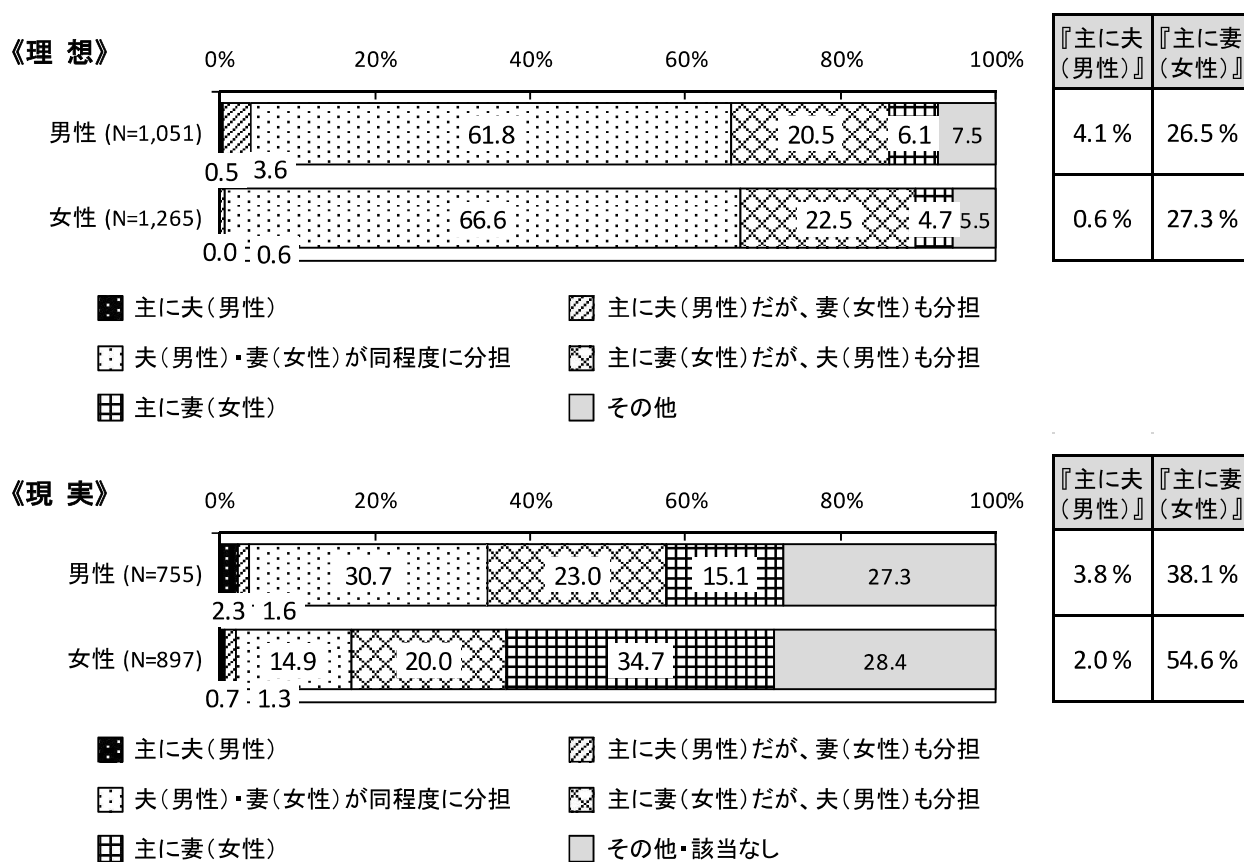


【性別】（介護・看病）

《理想》では、男性・女性ともに『主に夫（男性）・主に妻（女性）が同程度に分担』が6割以上で最も多くなっており、『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、男性（26.5%）と女性（27.3%）がほぼ同様となっている。

《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は38.1%であり、女性の54.6%と比べて16.5ポイント低くなっている。なかでも「主に妻（女性）」が分担している割合は、男性では15.1%であるのに対し、女性では34.7%となっており、差が19.6ポイントと大きい。

女性においては、《理想》では『主に夫（男性）・主に妻（女性）が同程度に分担』が66.6%であるのに対し、《現実》では同程度に分担が14.9%にとどまり、『主に妻（女性）』が分担している割合が56.6%を占めており、《理想》と《現実》の差が大きい。

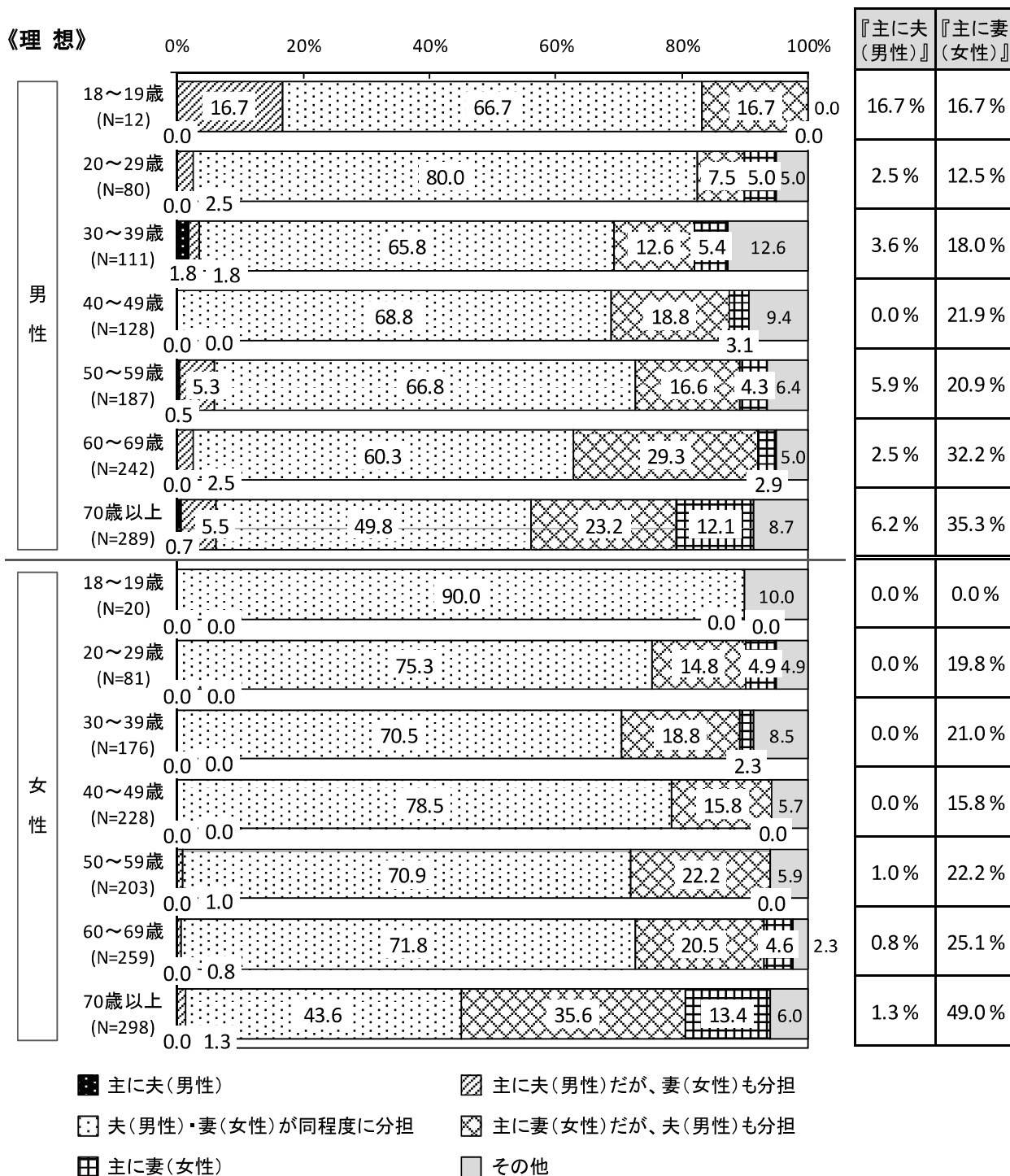


【性・年代別】（介護・看病）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上が35.3%で最も高くなっている。また、『主に夫（男性）・主に妻（女性）が同程度に分担』の役割と考える割合は、70歳以上では5割を下回っているが、他のほとんどの年代では6～7割、20～29歳では8割を占めている。

女性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の49.0%が最も高くなっている。また、『主に夫（男性）・主に妻（女性）が同程度に分担』の役割と考える割合は、70歳以上では5割を下回っているが、他のほとんどの年代では7～8割を占めている。

男性・女性ともに、概ね年齢とともに『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなる傾向がみられる。

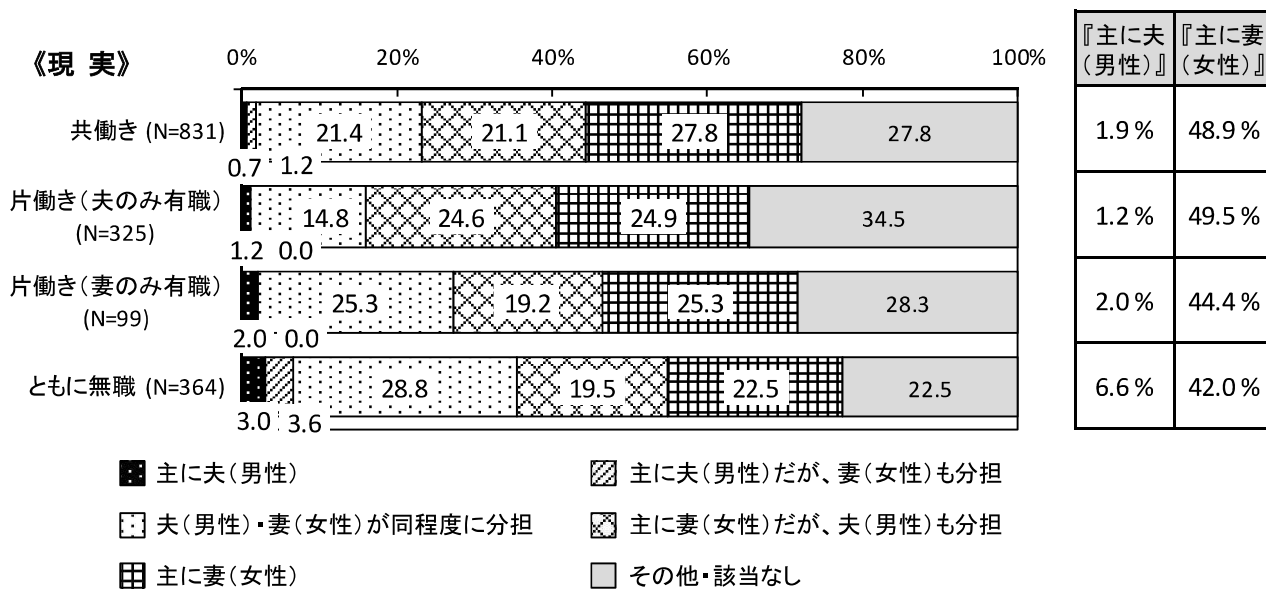
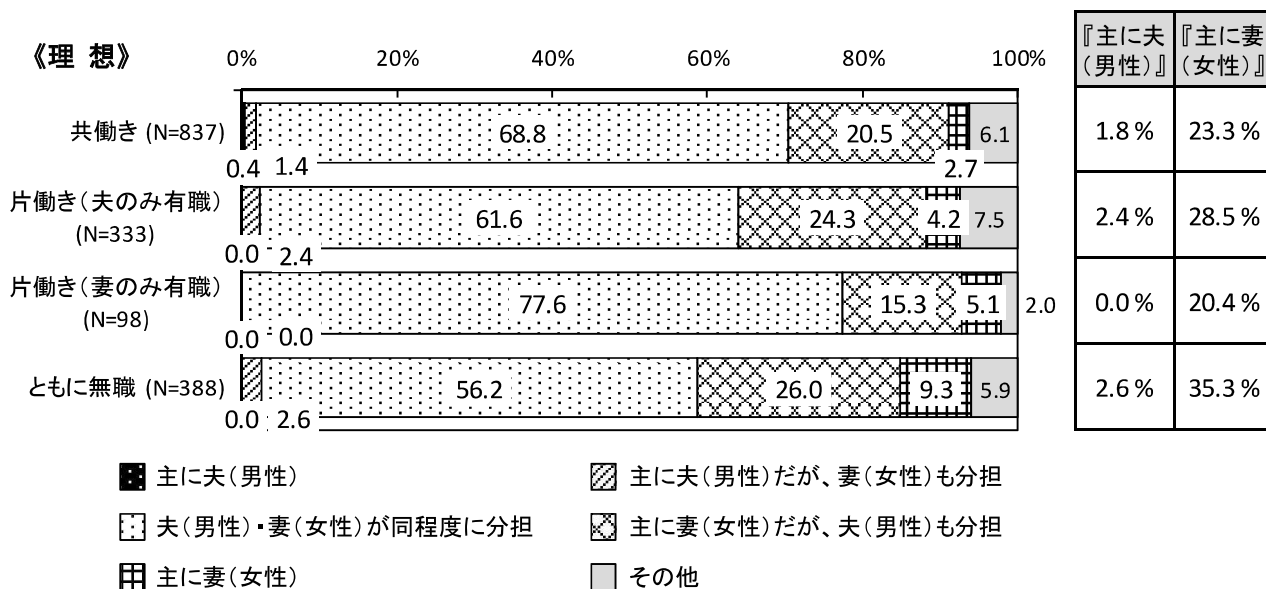


【片働き・共働き別】（介護・看病）

《理想》では、ともに無職（56.2%）を除き「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」の割合が6割以上を占めており、特に、片働き（妻のみ有職）では77.6%と高くなっている。

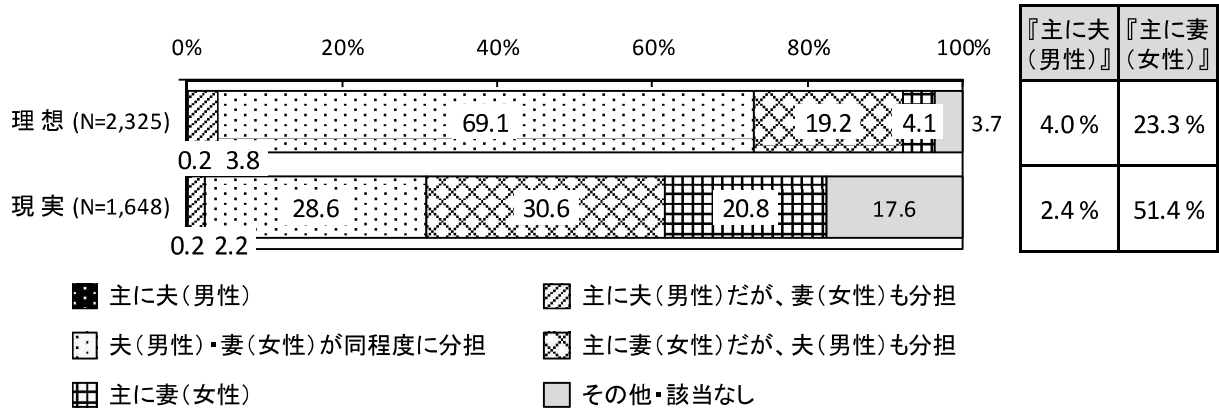
《現実》では、働き方の違いによる目立った傾向はみられず、いずれも『主に妻（女性）』が分担している割合が4割台となっている。

共働きと片働きにおいては、『主に妻（女性）』の割合が《理想》と比べて《現実》の方が20ポイント以上高く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。



⑧子どもの教育としつけ

《理想》と《現実》の差をみると、『主に妻（女性）』の割合については、《理想》では23.3%であるのに対し、《現実》では51.4%となっており、その差が28.1ポイントと大きい。

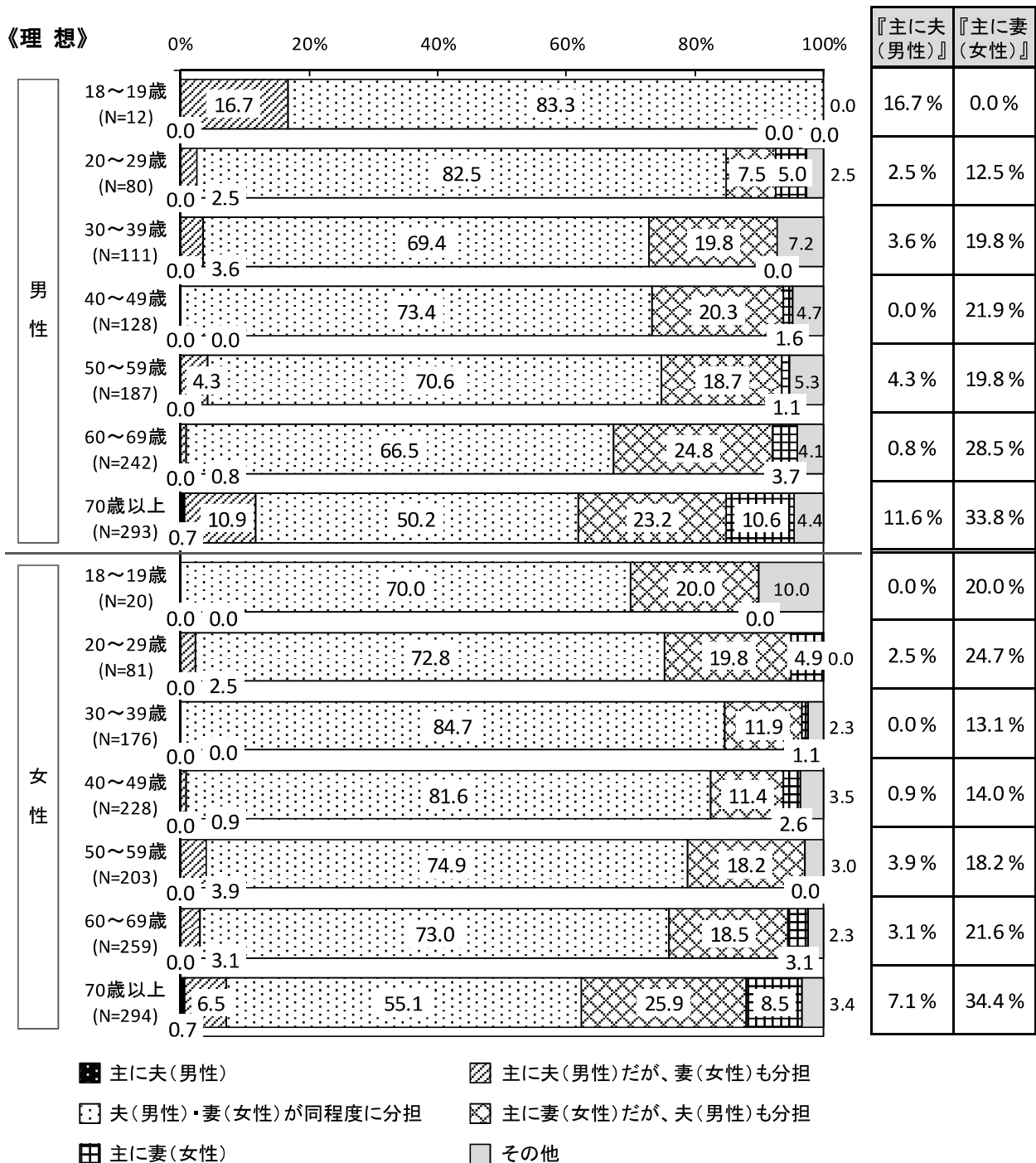


※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

【性・年代別】（子どもの教育としつけ）

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の33.8%が最も高くなっている。概ね年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。また、『主に夫（男性）・主に妻（女性）が同程度に分担』の役割と考える割合は、70歳以上では5割台だが、他のほとんどの年代では6～7割台、18～29歳では8割超を占めている。

女性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、男性の場合と同様に、70歳以上の34.4%が最も高くなっている。18～29歳を除き、年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。また、『主に夫（男性）・主に妻（女性）が同程度に分担』の役割と考える割合は、70歳以上では5割台だが、他の年代では7～8割台となっている。

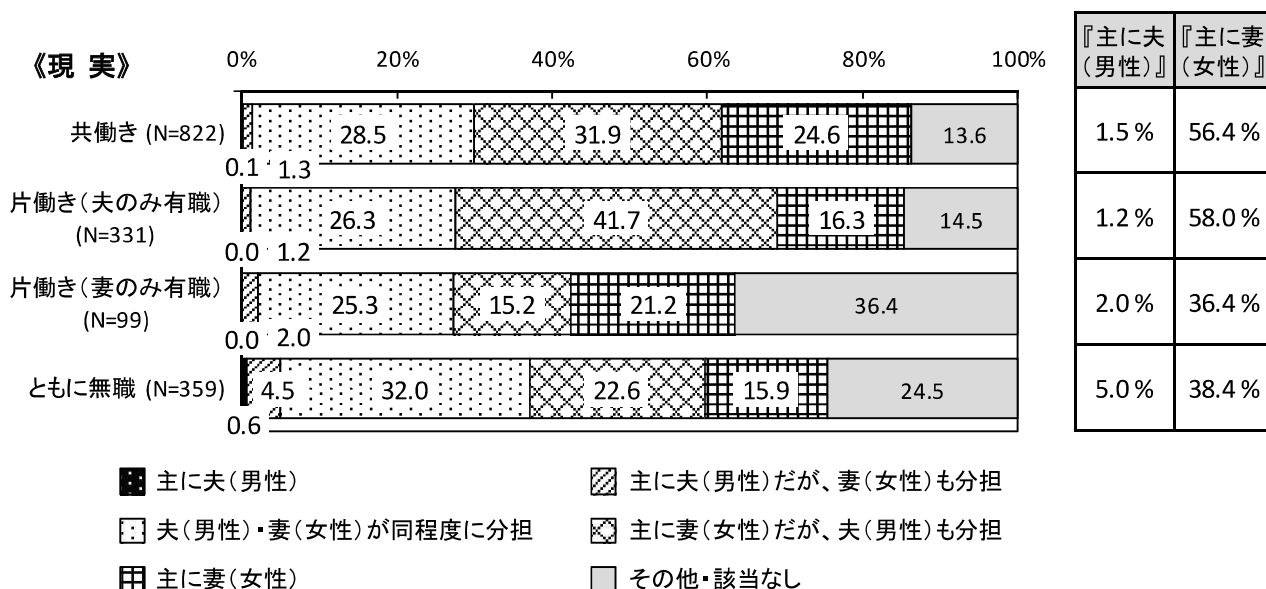
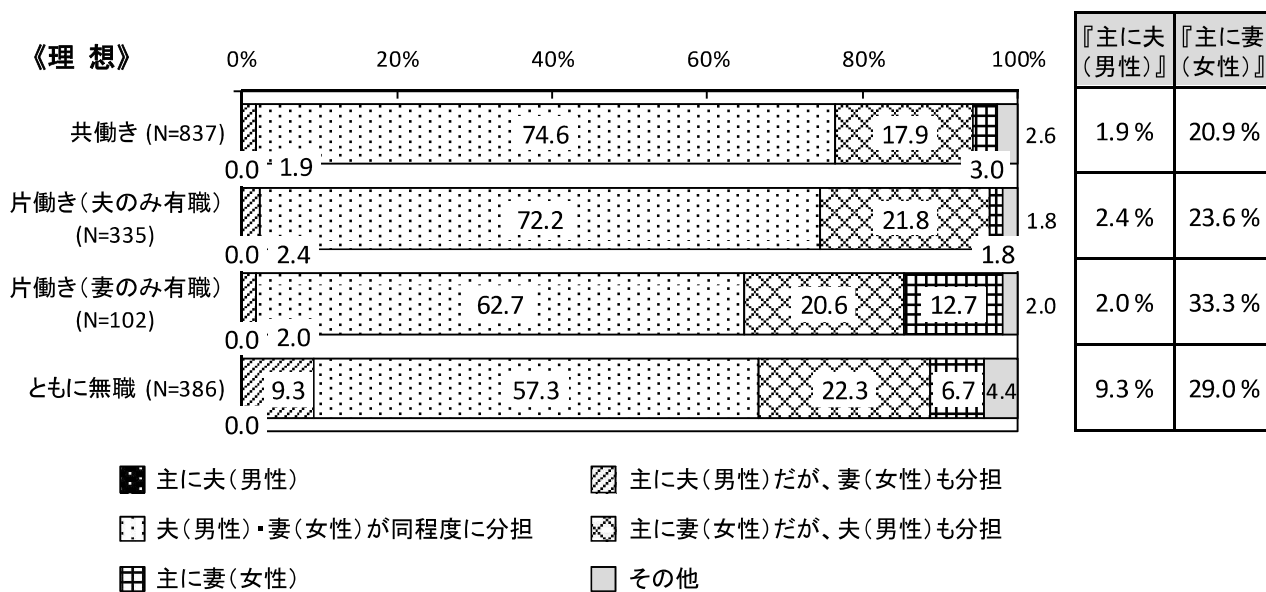


【片働き・共働き別】(子どもの教育としつけ)

《理想》では、「夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担」の割合がともに無職と片働き(妻のみ有職)は6割前後、共働きと片働き(夫のみ有職)は7割強となっている。また、『主に妻(女性)』の役割と考える割合は、いずれも2~3割である。

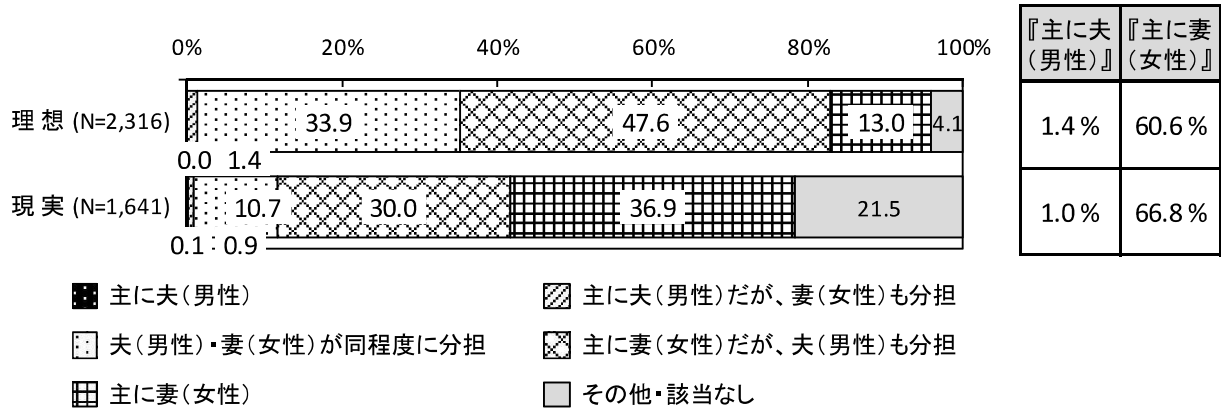
《現実》では、共働きと片働き(夫の有職)は『主に妻(女性)』が分担している割合が6割弱を占めている。一方、「夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担」の割合は、いずれも2~3割となっている。

共働きと片働き(夫のみ有職)においては、『主に妻(女性)』の割合が《理想》と比べて《現実》の方が30ポイント以上高く、逆に「夫(男性)・妻(女性)が同程度に分担」の割合が《現実》の方が45ポイント以上低くなっており、《理想》と《現実》の乖離が大きい。



⑨育児（乳幼児の世話）

《理想》と《現実》の差をみると、「主に妻（女性）」の割合は《理想》では13.0%であるのに対し、《現実》では36.9%となっており、その差が23.9ポイントと大きく、『主に妻（女性）』の割合は《現実》（66.8%）が《理想》（60.6%）を6.2ポイント上回っている。



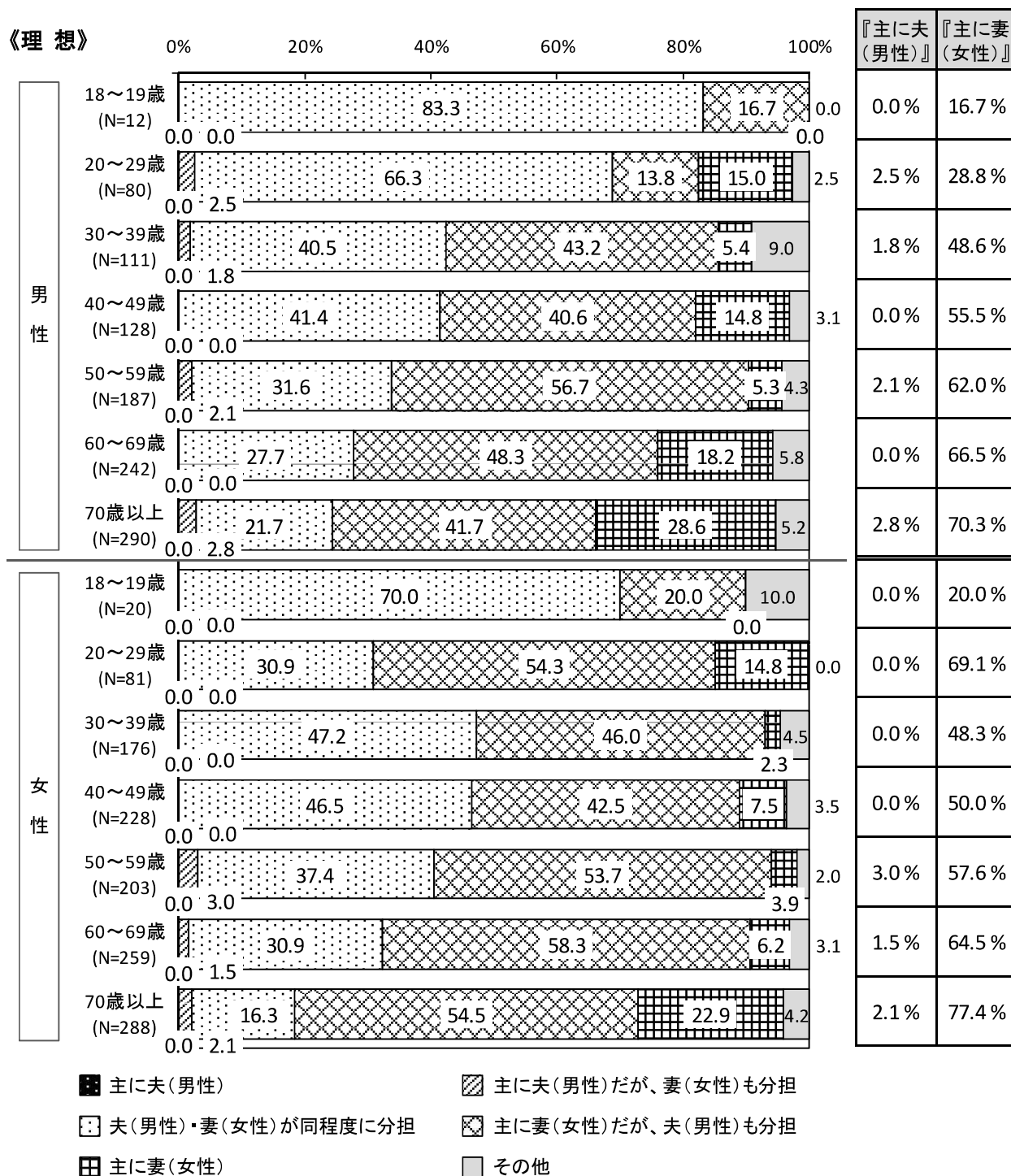
※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

【性・年代別】（育児（乳幼児の世話））

《理想》では、男性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、70歳以上の70.3%が最も高くなっている。概ね年代が高くなるにつれて『主に妻（女性）』の役割と考える割合が高くなっている。

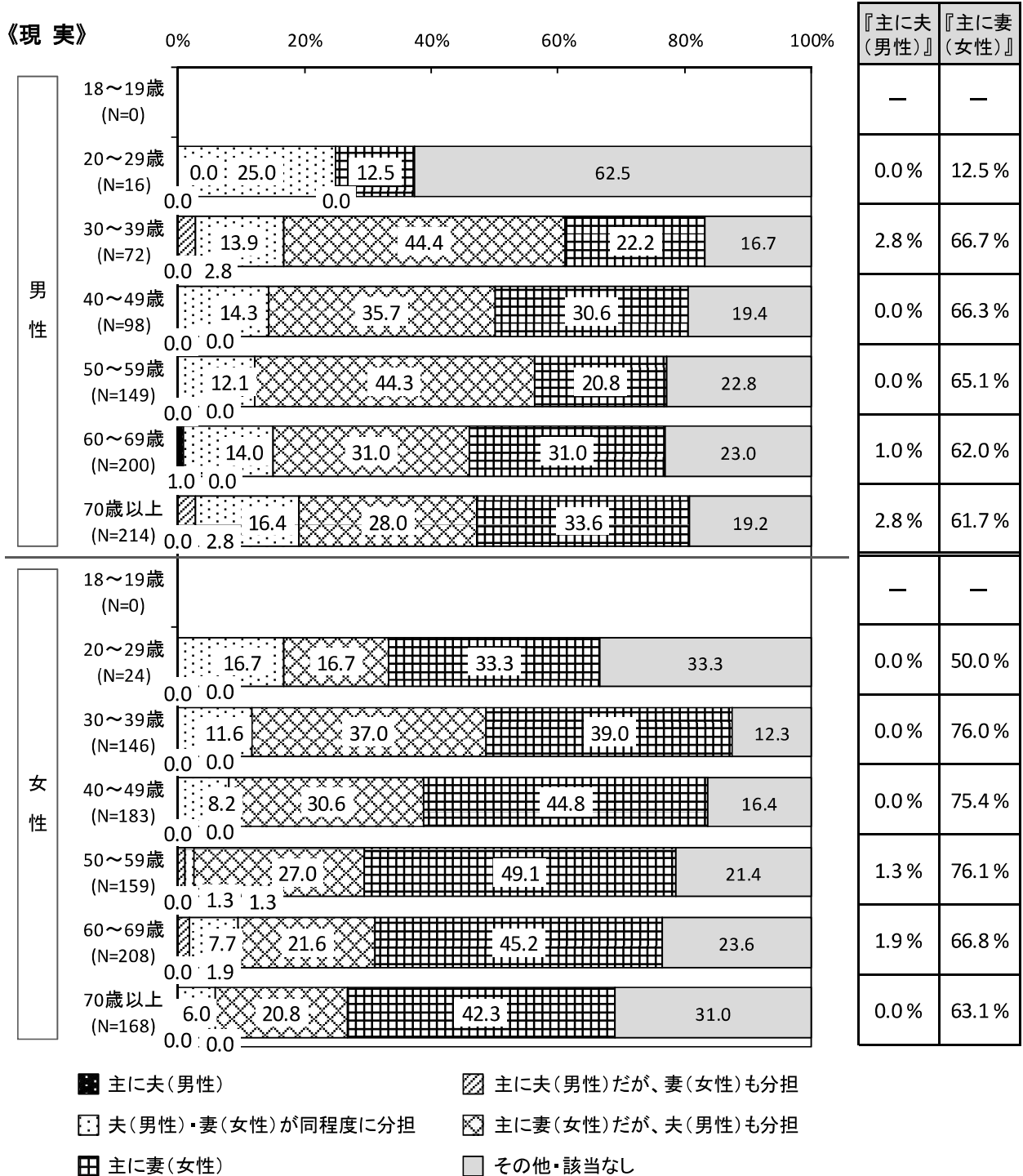
女性において『主に妻（女性）』の役割と考える割合は、男性の場合と同様に、70歳以上の77.4%が最も高くなっている。

また、男性の20～29歳において『主に妻（女性）』が分担している割合は28.8%であり、女性の同年齢の69.1%と比べて40.4ポイント低くなっており、男女差が大きい。



《現実》では、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、30～59歳が高くなっているが、20～29歳を除く年代では6割を超えている

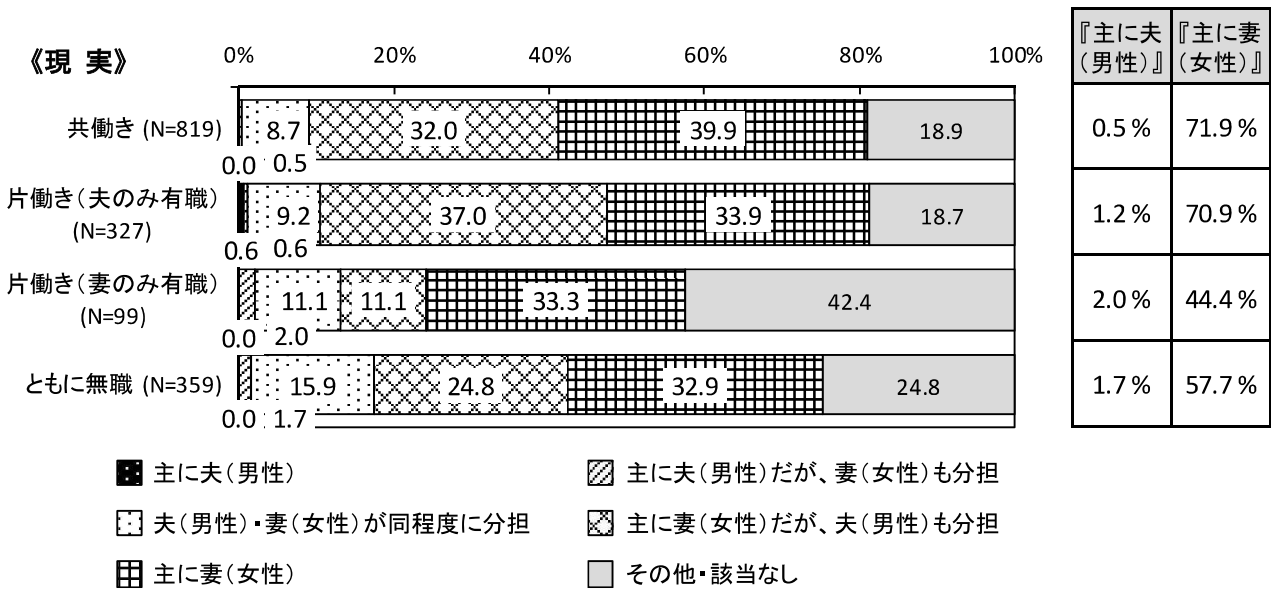
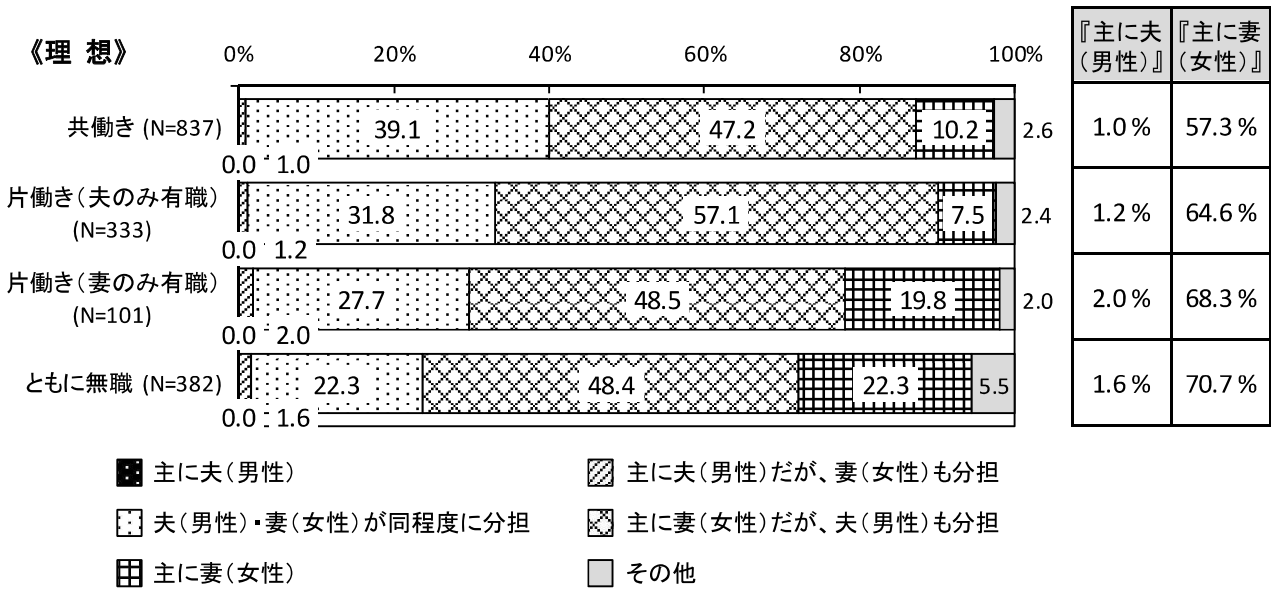
女性において『主に妻（女性）』が分担している割合は、男性の場合と同様に、30～59歳が高くなっているが、20～29歳を除く年代では6割を超えている。



【片働き・共働き別】（育児（乳幼児の世話））

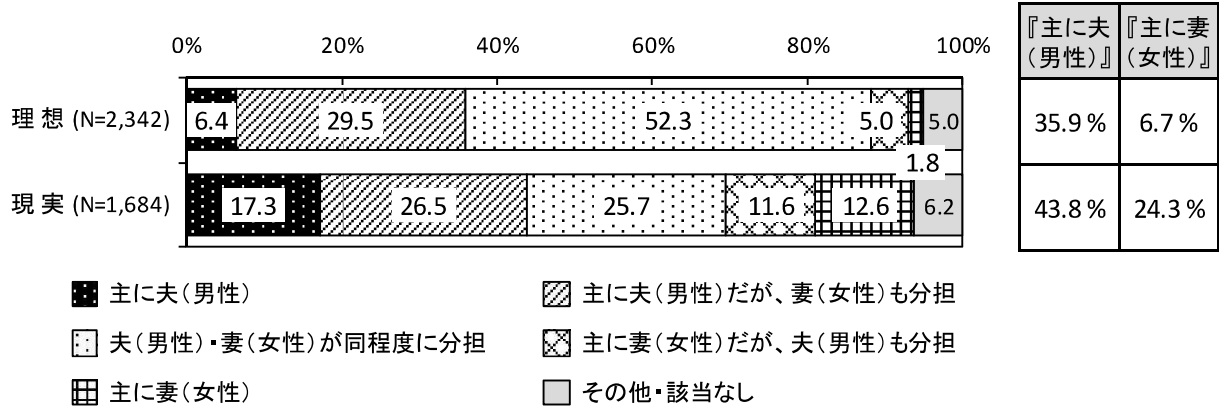
《理想》では、共働き（57.3%）を除き『主に妻（女性）』の役割と考える割合が6～7割台となっている。

《現実》では、共働きと片働き（夫のみ有職）は『主に妻（女性）』が分担している割合が約7割を占めており、特に、共働きにおいては『主に夫（男性）』が分担している割合は0.5%にとどまっている。また、片働き（妻のみ有職）においては「その他・該当なし」が4割を超えている。



⑩自治会等の地域活動への参加

《理想》と《現実》の差をみると、《理想》《現実》ともに『主に夫（男性）』の割合が『主に妻（女性）』の割合を上回っているが、『主に妻（女性）』の割合については、《理想》では6.7%であるのに対し、《現実》では24.3%となっており、その差が17.5ポイントと大きい。

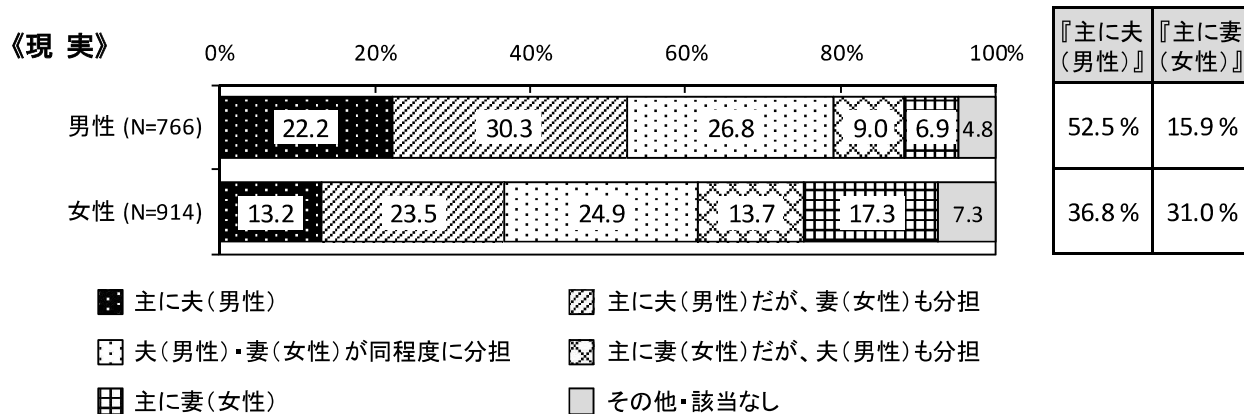
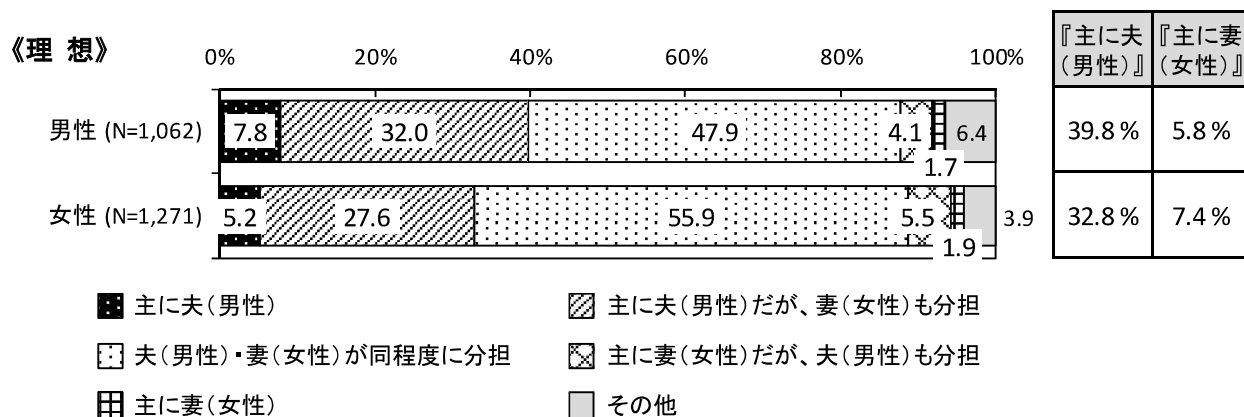


※現実には配偶者・パートナーがいる方のみ回答、選択肢「該当なし」は現実のみ

【性別】（自治会等の地域活動への参加）

《理想》では、男性において『主に夫（男性）』の役割と考える割合は39.8%であり、女性の32.8%と比べて7.0ポイント高くなっている。

《現実》では、男性において『主に夫（男性）』が分担している割合は52.5%であり、女性の36.8%と比べて15.7ポイント高くなっている。一方、男性において『主に妻（女性）』が分担している割合は15.9%であり、女性の31.0%と比べて15.0ポイント低くなっている。

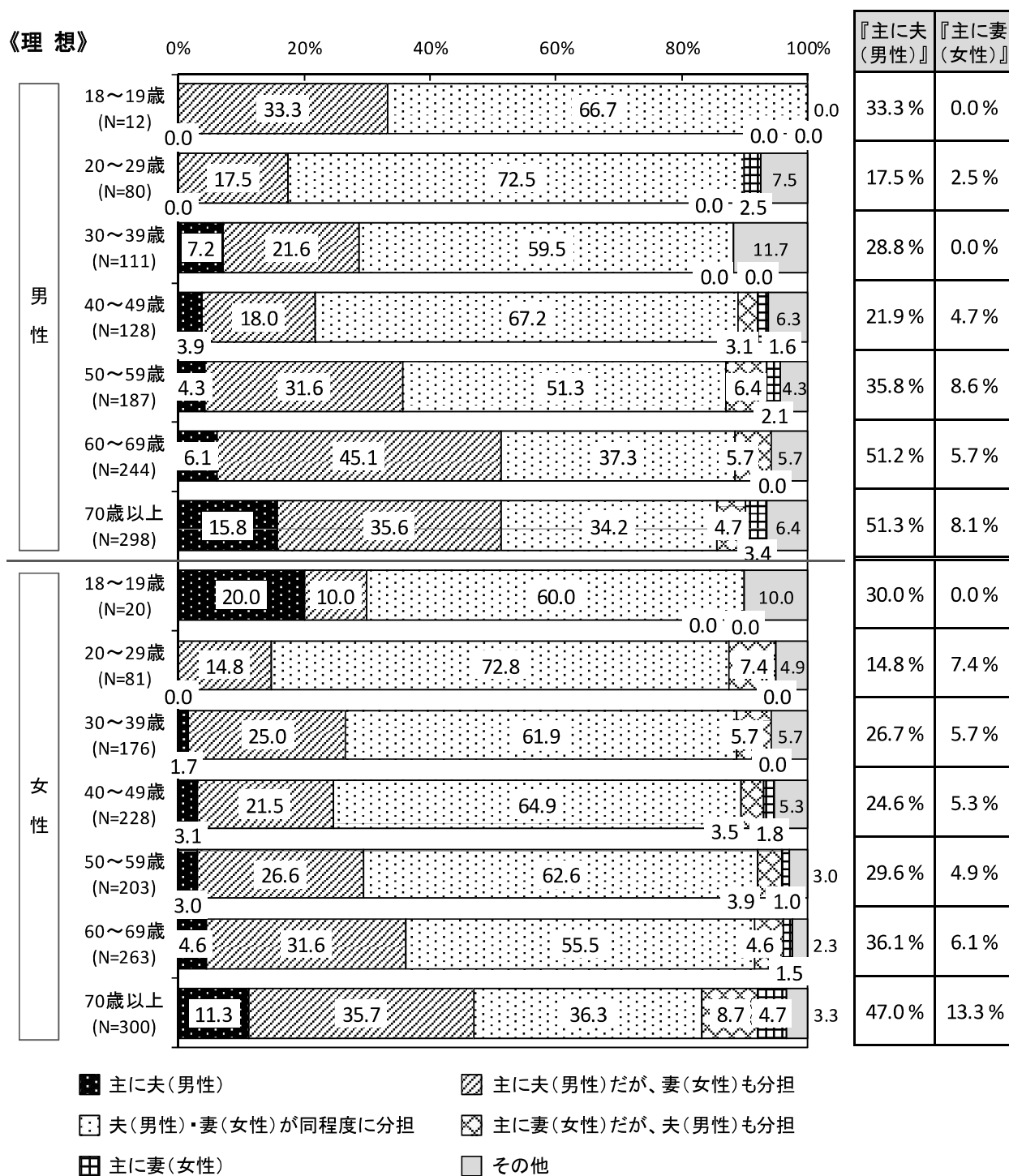


【性・年代別】（自治会等の地域活動への参加）

《理想》では、男性において『主に夫（男性）』の役割と考える割合は、70歳以上の51.3%と60～69歳の51.2%がほぼ同率で高くなっている。

女性において『主に夫（男性）』の役割と考える割合は、70歳以上の47.0%が最も高くなっている。

また、男性の60～69歳において『主に夫（男性）』が分担している割合は51.2%であり、女性の同年齢の36.1%と比べて15.1ポイント高くなっており、男女差が大きい。



【片働き・共働き別】（自治会等の地域活動への参加）

《理想》では、「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」が、ともに無職と片働き（妻のみ有職）は4割弱、共働きと片働き（夫のみ有職）は5割台となっている。また、『主に夫（男性）』の役割と考える割合は、共働き・片働き（夫のみ有職）で3割台、片働き（妻のみ有職）・ともに無職で5割前後となっている。

《現実》では、『主に夫（男性）』が分担している割合は片働き（妻のみ有職）で7割超となっており、他の働き方と比べてその割合が高い。また、片働き（夫のみ有職）は『主に夫（男性）』（33.4%）と「夫（男性）・妻（女性）が同程度に分担」（29.9%）、『主に妻（女性）』（30.2%）が拮抗している。

共働きにおいては『主に妻（女性）』の割合、片働き（妻のみ有職）においては『主に夫（男性）』の割合が、《理想》と比べて《現実》の方が20ポイント以上高く、《理想》と《現実》の乖離が大きくなっている。

